



うるわ

美しき魂

日置市立伊集院中学校学校便り

令和6年1月31日第9号

正しく、直く、潔き真の心

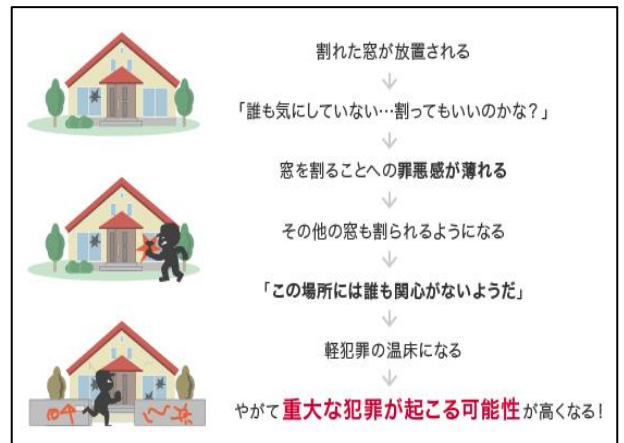
「割れ窓理論」から考えてみると…

教頭 福永 和也

新年明けましておめでとうございます。本年も本校の教育活動に際し、御理解・御協力のほどお願いいたします。今月はこのページを教頭の福永が担当します。

今年の年明けは、大きな自然災害や航空機事故の発生など心を痛めるような出来事が続きました。被害に遭われた方々や地域の1日も早い復興を願わずにはられません。同時に私たちが今、当たり前前に毎日過ごすことができていることは、本当にありがたいことであるということを感じさせられました。当たり前前の毎日に日々感謝しながら、今年も精一杯生きようと思いました。

さて、環境犯罪学という学問があります。その中で「割れ窓理論」という考え方があるのをご存じでしょうか。割れ窓理論とは、「一軒の家の窓が割れた時、それをそのままにして置くと、その地域での犯罪率が上がる」という考え方に基づいて、この人間の心理から「割れた窓をすぐに修理すれば、他の窓が割られる確率は低くなる」という説を唱えた理論です。この考え方に基づいて、劇的に変化した町があります。アメリカ最大の都市、ニューヨークです。



割れ窓理論 (ALSOKホームページより)

1990年、当時のニューヨークは、殺人事件の発生率が過去最高値を記録するほど、治安が極限にまで悪化していました。そこで、1994年に就任したジュリアーニ市長が「割れ窓理論」に基づく政策を実行し、町の変革に取り組みます。具体的には落書きや公共物の破壊、違法駐車、無賃乗車、万引きや暴力事件などの軽微な犯罪を積極的に取り締まりました。同時に、割れた窓の修理や落書きの消去なども行い、まちの秩序を取り戻せるよう行動したのです。この政策を実施するために、警察職員を5000人増やし、積極的に町のパトロールを行います。その結果、殺人事件やそのほかの犯罪が劇的に減少したのです。

ここで大事ななのは、警察が頑張ったから犯罪が減ったという単純なことではありません。警察の取り締まりはあくまできっかけに過ぎません。町が少しずつきれいになる中で、住民が町の些細な変化に関心を持ち、自分たちの住む町の環境整備に関心を持つようになり、行動が変わっていったということです。

これを学校に置き換えてみましょう。例えば教室にゴミが落ちていたとします。気付いた人がすぐに拾ってゴミ箱に捨てれば、きれいな状態が保たれます。きれいな状態にある教室を汚そうと考える人は少ないでしょう。心も落ち着いた状態が保たれると思います。ところがゴミが落ちたままの状態が放置されると、新たにゴミが捨てられたとしても何とも思わず、どんどんゴミを捨てる人が増えることになりかねません。やがて「少しくらいルールを破っても誰も気にしない」という心理が芽生えます。心が落ち着かない状況が生まれるのではないのでしょうか。「環境が人を作る」とよくいいます。しかしどんな環境を作り出すかは、そこで過ごす人間が自分のいる場所にどれだけ関心を持つかが重要だと思います（自戒の念も込めて…）。

学校という環境を生徒にとってよりよいものにしていくために、今年も生徒・保護者・教職員・地域の方々と力を合わせて進んでいく、そんな1年になればと思います。

つたない文章で申し訳ありませんでした。改めまして本年もどうぞよろしくお願いいたします。

美しき魂の足跡～入賞おめでとう～

【男子バレーボール部】スポーツタニヤマ旗バレーボール大会 優勝
令和5年度合同練習会in大隅 Aパート優勝

【女子ソフトテニス部】第9回新春スポーツ谷山杯中学ソフトテニス大会
チャレンジクラス第3位

【統計グラフコンクール】県統計グラフコンクールパソコン統計の部 佳作



春の祭典に2年3組が出場

1月21日に、鹿児島市の宝山ホールにて、第57回鹿児島県中学校音楽コンクール『春の祭典』が行われ、本校からは2年3組が出場しました。

2年生はすでに生徒会活動や部活動で学校の中心として頑張ってくれています。当然練習に充てられる時間は限られていますが、その中での練習に一生懸命取り組んでいました。結果は銅賞でしたが、本当によく頑張っていたと思います。また、他校の演奏に触れることで、大きな刺激を受けることができました。応援いただきありがとうございました。



生徒会によるボランティア活動

昨年末の12月28日、生徒会のメンバーに有志が加わり約20人で「赤い羽根共同募金運動」を実施しました。グラードで3カ所の出入口に分散して、行き交う人々に、約1時間声をかけました。おかげさまでたくさんの方々が快く募金をしてくださいました。生徒たちもたくさんの方々に触れる度に呼びかけの声にも勢いが増し、自然と笑顔がいっぱいになっていました。

また先週は、石川県能登半島地震の募金活動を校内で行いました。こちらも多く生徒が募金を行っていました。伊集院中学校では様々な機会を通して、これからもボランティア活動に積極的に参加していきたいと思っています。協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



食に関する授業を行いました(1年)

鹿児島県では、平成14年度から、学校給食記念日の1月24日を含む1週間を「鹿児島をまるごと味わう学校給食」と定め、新鮮で安心・安全な県内産の食材を活用した学校給食を実施しています。戦後の食糧難の時代に、アメリカからの給食用支援物資が12月24日に東京都内の小学校に贈呈されたのを記念し、12月24日を学校給食記念日としました。多くの学校が冬休み期間のため、1か月後の1月24日から1週間が、「学校給食週間」となっています。

本校ではその取組の一環として、24日に栄養教諭の尾川先生が、1年生を対象として「食に関する授業」を行いました。おいしくて栄養満点の給食があることは本当にありがたいことです。これからも生徒とともに感謝の心を忘れずにいただきます。



科学の祭典が開催されました

「青少年のための科学の祭典」が20日(土)に市中央公民館で行われ、本校河地教諭もブースを設置し、参加しました。大盛況でした!



2月の主な行事

2 (金)	学年末テスト前部活動停止 (～8日)
5 (月)	スクールカウンセラー来校 (午後)
6 (火)	ノーメディアデー (～8日)
7 (水)	学年末テスト (～9日)
10 (土)	土曜授業
12 (月)	振替休日
14 (水)	ひおき学検定 (1年)
	立志式・記念講演 (2年)
16 (金)	授業参観・学年学級PTA (1・2年)
19 (月)	学期末職員室入室禁止 (～3/14)
20 (火)	全校朝会
23 (金)	天皇誕生日
26 (月)	全学年総合 (学期の振り返り)